

令和3年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年	第2学年	学類	科型	普通科理系
単位数	2単位	教科書	現代文B（教育出版）					
副教材	現代文B学習課題ノート（教育出版）							

学習目標	近代以降（明治時代以降）の様々な文章（評論・小説・詩歌）を的確に理解し、ものの見方、感じ方、考え方を深めます。また、読み取るだけでなく、書く・話す・聞くことを通じて、自分自身の表現力も高めていきます。
------	--

キャリア教育の視点	文章を読むことによって、常識的なものの見方や考え方を相対化し、新たな認識を獲得することができます。多くの文章に触れ、いろいろな発想やものの見方を学び、人間、社会、世界に対する認識を豊かにすることで、自分自身のより良い生き方につなげます。
-----------	--

学習計画及び内容				考査
1 学 期	4月	随想	具体例を通して筆者が主張していることをつかみます。	中間考査
	5月	評論	論理の展開が具体例を通して進んでいくという、評論の基本構造を理解します。	
	6月		主人公の心理を読み取り、人間存在の内奥について考えます。	期末考査
	7月	小説		
2 学 期	8月	評論	論理的な文章の読解力を高め、論理的な思考力、表現力を養います。	中間考査
	9月		科学的発見のプロセスと言語学習のプロセスの共通性について認識を深めます。	
	10月			期末考査
	11月	詩歌	音読を通して、詩の独特的なリズムや技法について理解します。	
3 学 期	12月			
	1月	小説	日本近代文学の代表的な作品を読み、その現代に通じる問題意識を読み取り、自分も含めた人間の生き方について考えます。	学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	週2時間の授業では、読解に必要な語彙力を高めながら、学習課題ノートや授業者が作成したプリント等を中心とした学習をします。自分で考えたり、グループで話し合ったりする中で、教科書本文に述べられた事柄から自分自身を振り返りながら学習を進めていきます。また、考えたり話し合ったりしたことを、文章にまとめたり発表したりして、グループ内やクラス内で相互評価します。
-------	--

評価の仕方	定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は次の3点で評価します。 1 授業への参加状況と活動意欲 2 学習課題ノートやプリント等の活用状況 3 提出物の精度と丁寧さ
-------	--

備考	
----	--